

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区画 調整課	H18当 初予算	H19当 初予算	H20当 初予算	H21当 初予算	H22当 初予算	H23当 初予算	完結分		
H17	1	平佐東	元第7分団は合併後4詰所を一元化し、消防活動を行っている。今後消防格納庫と詰所を一体化して、平佐東地区コミュニティセンター横に移転する方向で協議を行っている。早期にこれら移転に伴う消防格納庫及び詰所の建設に、ご配慮をいただきたい	消防局	中央大隊川内南方隊平佐東分団は、平成16年6月21日に、平佐東校区第7分団消防詰所移転についての要望書を受け取っている。この要望書の趣旨を十分尊重しながら、効率的な消防団活動が展開できるように、車庫詰所等の施設整備を早い時期に進めてまいりたい	平成18年度事業により、完結済み												○		
H17	2(1)	平佐東	市道戸田一長野線は、中学校の合併に伴い改修工事を行うようになった。市が先行取得をした用地の選考整備を	建設整備課	市道戸田一長野線は、引き続き平成18年度から、未改良区間約4.10mを年次的に拡幅改良を実施したいと考えている	平成18年度から年次的に施工中である	平成20年度で完了					○	○						○	
H17	2(2)	平佐東	昭和62年に国鉄宮之城線が運行を終え、旧川内市がその用地の90%が道路として整備したが、地区内の670mあまりが未だ手付かずで残されている。樋脇・入来・祁答院方面からの通行量も多く、「中間道」として、是非早急に完成していただきたい	建設整備課	この区間は、抜本的な整備は行っていない。多くの事業費を必要とし、多くの課題を抱えている。この宮之城線跡地を道路として整備するほうがいいのか、それとも他に方法がないかということを含め、検討したい。なお、現在市道戸田一長野線の整備をしており、まずはそちらを優先的に整備したい	現在は予定していない	平成21年度調査を行なう予定。	仮設歩道橋等で対応できないか、県と協議することとしている。	・測量設計を実施。	・未実施					○					
H17	3	平佐東	飯母橋もかつての板橋から3代目だが、橋脚が高く洪水時に流木竹が流れを阻害し危険だ。調査し、改修計画を検討いただきたい	建設整備課	外見上異常は認められないが、建設から50年以上を経過していることから、順次、点検・調査等を実施し、必要であれば改修計画等を検討したい	現在は予定していない	橋梁長寿命化策定に向けた調査に入る予定(維持課)	平成21年度から建設維持課にて、橋梁長寿命化計画の調査に入る。	・未着手	・未着手				○						
H17	4	平佐東	寺山トンネルの掘削について、戸田橋の架け替えも完了し、市街地及び新幹線の利用も見込まれる。実施できるように要望する	建設整備課	連絡道路として寺山トンネルは重要だが、トンネルを掘るとなると総事業費60億円程度の費用がかかる。具体的な事業化は当面厳しい	現在は予定していない	構想が大きすぎ計画に至っていない。	事業化の予定は、ない。	・未着手	・未着手										
H17	5	平佐東	東郷橋は老朽化がひどく補修の連続である。県道橋だが合併により市域内の道路となったので、県へ改修の働きかけをお願いしたい	建設政策課	平成15年度に耐震補強工・落橋防止工等の工事を県で行っており、当面架け替えの計画は無いとのことであった。今後も県への働きかけたい	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり										
H17	6(1)	平佐西	川内文化ホールは老朽化し、駐車場も狭いため、新たに駅東口に薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場を	文化課	いずれは新しく建て替えなければとは思いますが、新築となると莫大な経費を伴うため、現在の財政状況からは難しい。当面は川内文化ホールで対応したい	回答のとおり	H17年度末のとおり	H17年度末のとおり	H17年度末のとおり	H17年度末のとおり										
H17	6(2)	平佐西	現在ほとんど活用されていない産業振興センターギャラリー室を、高齢者のサロンや学生のための学習室等に利用したい。平佐西地区民がいつでも利用できるスペースにしてほしい	企業・振興課	産業振興センターは、原子力発電施設等周辺地域特別対策事業交付金を財源として建設しているため、使用目的を容易に変更することは難しい。ただし、現在地区で利用されている研修室と同様、現況の展示ギャラリーに影響を与えない程度のスペース確保については差し支えないと考えている	回答のとおり	—												○	
H17	6(3)	平佐西	現在借りているゲートボール場・グラウンドゴルフ場が区画整理事業により撤去されるので公園を早期に完成させてほしい	建設整備課	三堂公園は平成25年度の完成を予定している。その他の公園は随時造成工事を行う予定で、完成した公園があるいは個人の土地を利用いただきたい	三堂公園は平成25年度の完成を予定している。その他の公園は随時造成工事を行う予定で、完成した公園があるいは個人の土地を利用いただきたい	三堂公園の基本計画策定中。	平成22年度から本格工事に入る。現在は、仮施設で対応中。	平成21年度事業認可済。平成22年度より本格整備実施予定。	・実施中(三堂公園)			○	○	○	○	○			
H17	7(1)	平佐西	横馬場田崎線の工事を。災害時の緊急車両・大型重機・特殊機材などがガード下を通れず、空港ハイパスに迂回しなければならない	建設整備課	線路から東側は鉄道の交差部・用地取得部分の工事・駅前白和線までの拡幅工事を行う予定。九州新幹線の全線開通に間に合うように整備をしたい	横馬場田崎線の鉄道交差部においては、平成19年度に測量設計に着手予定。今後、当該路線の工事計画にあわせて整備を進めたい	JRアンダーパの測量設計中。20年度より用地交渉開始。	実施設計を完了。鉄道西側の用地補償に着手、一部移転済み。	建物等補償完了(移転及び解体済み)用地買収完了	・実施中(市道横馬場・田崎線)			○	○	○	○	○			
H17	7(1)	平佐西	県道山崎・川内線(区画整理事業内)も交通量に見合った拡幅を行うよう要望する	都市計画課	県道山崎・川内線については、抜本的な対策はできないが、土地区画整理事業内にはいるところは、現道幅員で排水溝の整備、舗装の改修工事を行う計画	県と協議の上、平成19年度に整備予定である	関連する建物移転に期間を要したため、H19に実施できていない。	隣接する建物等の移転補償を完了し、一部側溝の改修済み。	工事に先行して、当路線と接続する市道平佐加治屋馬場線との交差点協議を実施した。	市道平佐加治屋馬場線との交差点部の工事を実施した。			○	○			○			
H17				建設維持課	横断歩道を3箇所に設置した。速度標識は県の公安委員会設置を予定。信号機は公安委員会と協議を行い早い時期に設置するよう今後も要望を行う	速度標識は、公安委員会が設置した。信号機については、今後も要望してまいります	横断歩道及び速度制限の標識は、県公安委員会が設置いたしました。信号機につきましては、十字交差点の整備状況を見ながら県公安委員会へ要望してまいります。	区画整理事業により、交差点北側の道路整備を行った。大学側の拡幅を含めた交差点の全体整備を行う予定であり、これに併せて信号機の設置を県公安委員会へ要望してまいります。	H21年度に、県公安委員会により信号機を設置して頂いた。併せて、区画整理事業で交差点の全体整備を実施し、H22年3月29日に全面供用開始された。										○	
H17	7(2)	平佐西	外環状道路の開通により、天辰地区の交通量が激増している。小・中学校の通学路にあたる部分もあり、早急に交通信号機・横断歩道・速度標識等の設置を要望する	防災安全課	この要望を警察に伝えるが、地域や地区コミで交通安全協会の支部や警察関係団体に地域の声として伝えれば、より効果が上がるのではないかと	回答のとおり <参考> ・H18.9 道路診断 市道平佐・吉野山線横断歩道設置要望 ・H18.4 道路診断 永利・天辰線 横断歩道設置要望 (道路診断：警察署、道路管理者(県・市)、交通安全協会→協議によっては、警察を通じて県公安委員会へ横断歩道、信号機等の設置を上申)	【19年度整備】市道平佐・吉野山線(純心女子大下)横断歩道設置 【20年度整備予定】市道永利・天辰線(市営ハイタウン先)横断歩道設置 県道川内・祁答院線ファミリーマート川内平佐店前交差点信号機設置 市道平佐・吉野山線(純心女子大下)の信号機設置及び市道平佐山山線の通断禁止規制(07:00~08:00、土日、休祭日を除く) 【その他】市道永利・天辰線純心女子大下交差点信号機設置要望については、道路改良後に検討すべきであるが、平成21年度で公安委員会へ上申済み。 純心女子大下の速度規制についても、周辺道路整備が終了後、検討。	【20年度整備済み】市道永利・天辰線(市営ハイタウン先)横断歩道設置 県道川内・祁答院線ファミリーマート川内平佐店前交差点信号機設置 市道平佐・吉野山線(純心女子大下)の信号機設置及び市道平佐山山線の通断禁止規制(07:00~08:00、土日、休祭日を除く)も完了している。	県公安委員会において、21年度に市道平佐・吉野山線(純心女子大下)の信号機設置及び純心女子大下の速度の40km規制を完了した。 市道平佐山山線の通断禁止規制(07:00~08:00、土日、休祭日を除く)も完了している。									○		
H17	7(3)	平佐西	区画整理事業2工区の離合場所の増設を、坊ノ下自治会内の市道は車の離合が困難で対向車が来ると庭先や畑等に退避せざるを得ない	天辰区画整理推進室	この地域は土地区画整理事業の予定で、道路整備は計画していない。事業の完成までには相当の年数がかかることから車等が離合出来る場所を計画したい	現地調査を行い、必要箇所については把握している。離合場所の整備は、天辰第一地区内の土砂流用で考えており、実施時期の調整を図っているところである	現地調査結果に基づき、H19年度までに1箇所は設置済み、1箇所については関係者の同意が得られず出来なかった。今後も必要箇所関係者の協力が得られる箇所から、第一地区内の流用土を利用して実施したい。	平成20年度は、関係者の同意が得られた箇所の部分拡幅を1箇所行った。今後も必要箇所関係者の協力が得られた箇所から、第一地区の流用土を利用して実施したい。	平成21年度は、関係者との協議及び境界調査及び測量・設計を実施し、平成22年度実施したい。	平成22年度は、関係者の同意が得られた箇所の部分拡幅を2箇所行った。今後も必要箇所関係者の協力が得られたら拡幅等を実施したい。				○	○	○				
H17	7(4)	平佐西	外環状道路の県営住宅前にくるくるバスの停留所を設けてほしい。現在の中央中表門の停留所ではなく、裏門に停留所を設けてほしい	商工振興課	平佐・喜入・天辰・田崎・三堂などの地域は交通空白地域であるという調査の結果もでている。将来的にくるくるバスとは別の新しい路線を検討したい	昨年11月8日から市街地南部循環線のコミュニティバスの運行を行い、交通空白地域の是正を図っている														○

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区概況	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	完結分		
H17	8	平佐西	有線放送の整備を早急に進めるため有線放送施設設置事業補助金の補助比率の引き上げや着工時の一時金等の制度を創設する考えは	防災安全課	市内の全家庭にできるだけ早い期間に整備を考えている。補助比率の引き上げ、着工時の一時金等の制度は二重投資となるので慎重に検討している	市では防災行政無線のデジタル化を平成19年度より実施する。デジタル化に伴い、地区ごみや自治会からも情報伝達手段として利用可能なものを検討している	市においては、今後、有線放送設備の整備について、促進していく考えはありません。平成20年度から、防災行政無線を、デジタル方式で整備し、整備期間は、複数年度になりますが、市内全戸を対象に、屋内で防災・行政情報を聞くことのできる戸別受信機を設置していくこととしており、自治会放送の可能な機器の設置を予定しています。	有線放送施設は、台風後の有線の断線等の維持管理費用がかかるため、市は、無線による戸別受信機を推奨し、整備しております。平成21年度において、防災行政無線のデジタル化整備事業により本庁親局から屋外拡声子局までの整備が完了したところです。平佐西地区は、平成22年度内に屋内で防災情報・自治会放送を聞くことができる戸別受信機を全世帯を対象に整備することとしておりますので、ご承知おきください。									○			
H17	8	平佐西	防災行政無線の経費はどうなるのか。市が全部負担するのか、住民の負担がでてくるのか	防災安全課	防災行政無線の経費については、市の負担で考えている	防災行政無線の経費については、市の負担で考えている	防災行政無線設備の整備につきましては、戸別受信機の設置を含め、全額市の負担で整備することとしております。	防災行政無線設備の整備につきましては、戸別受信機の設置を含め、全額市の負担で整備することとしております。	防災行政無線設備の整備につきましては、戸別受信機の設置を含め、全額市の負担で整備することとしております。	平佐西地区においては、平成22年度整備を予定しております。								○		
H17	9	平佐西	コミュニティ組織が整備されつつあるが、自治会未加入者も多く、ゴミ問題などで支障がでている。今後のコミュニティ活動に支障をきたさないために、ゴミ対策及び自治会加入へのある程度の強制力を持った方策を考えていただきたい	コミュニティ課	方策を打っているが、自治会の加入はあくまでその地区に居住する住民が自主的な発意に基づいて加入をするもので強制力をもった加入策というのは困難	自治会加入については、強制力がなく、転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知等により、加入促進を図っている	自治会加入については、強制力がなく、転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知、市民課窓口での加入促進チラシの配布等により、加入促進を図っている。	自治会加入には強制力が無いが、今後も引き続き転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知、市民課窓口での加入促進チラシの配布等により、加入促進を図っている他、自治基本条例にも、「自治会に加入し、その活動に参加するよう務めるものとする。」と盛り込まれている。	自治会加入には強制力が無いが、今後も引き続き転入転居者への自治会案内、未加入者へハガキ通知、市民課窓口での加入促進チラシの配布等により、加入促進を図っている他、自治基本条例にも、「自治会に加入し、その活動に参加するよう務めるものとする。」と盛り込まれている。	平成22年度より自治会加入促進懇話会を実施し、自治会加入促進に向けた方策の検討をしている。										
H17				環境課	未加入者にゴミ出しの協力金への負担の例もあるが一部のゴミ出しルールが悪く迷惑をかけている実態もあるので、マナーの徹底について周知を図りたい	未加入者のゴミ出しについては、引き続きマナー徹底の周知を図りたい。また19年度は公設ごみステーションの設置を行い未加入者の対応を行いたい。転入者に対しては窓口でごみの出し方について周知を図りたい	未加入者のゴミ出しについては、公設ステーションを市内5カ所に設置し対応を行った。また、未加入者のごみの出し方については、引き続きマナーの徹底を図りたい。転入者については、窓口でごみの出し方について周知を図っている。	川内北中校区と川内南中校区に1ヶ所ずつ公設ステーションを設置した。引き続きマナー徹底を呼びかけるなど自治会未加入者のごみ出しマナー向上に努めている。	アパート管理者に対して入居者のごみ出しマナーの指導をお願いするとともに、転入者に環境課窓口でごみの出し方について周知を図っている。									○		
H17	10	川内	川内小学校校舎を改修ではなく全く新しい形の学校、モデル校として抜本的な新築を、セキュリティの強化として新築はどうか	教育総務課	合併に伴い学校の校舎等の実態調査と耐震化の調査を行う予定であるので、この調査結果を踏まえながら、川内小学校の校舎についても検討していく	H19年度に耐震診断、老朽化対策の設計業務委託。 H20～H21年度、大規模改修工事。 現在、国において既存の校舎を安易に解体することなく改修して使用するよう指導している。川内小の校舎は、耐用年数に達していないため、解体新築ではなく、既存校舎の骨組みを残し、全面内外装改修とする	耐震診断・補強改修設計済	H20年度北東校舎改修済 北西校舎はH22年度改築予定	H22年度当初予算に計上済み	北西校舎改修済		○	○	○		○	○	○		
H17	11	川内	児童の通学時の安全が懸念される中、今後、実施されるくるくるバスを有効利用できないか。くるくるバスの運行経路が、通学路と重なっているような児童に対して、定期券を発行するなどして、安心して登下校のできる環境づくりをしてほしい。	商工振興課 学校教育課	くるくるバスの有効利用や定期券の発行等については、規制緩和など政府の動きを見極めながら、関係各課と連携を図り、検討していきたい 川内地区ではくるくるバスの他多数の路線バスが運行されており、通学でバスをご利用いただきたい。宮里方面はくるくるバスとは別の循環路線を検討中	川内地区においては、くるくるバス及び路線バスを引き続き通学では利用していただきたい	川内地区においては、くるくるバス及び路線バスを引き続き利用していただきたい。なお、定期券の発行等は考えていない。												○	
H17	12	川内	国道3号を毎月2回歩行者天国として様々なイベントを開催し、市の中心市街地にふさわしい集客を図り、賑わいのある商店街を	商工振興課	将来的には南九州西回り自動車道や外環状道路の完成等道路事情や車の流れが変わることも考えられる。具体的な計画の出た段階で可能な限り対応したい	国道3号の歩道部分の占用等を行い、きやんせふろさとフェスタ等を実施し賑わいのある商店街づくりを行っている	国道3号が国道直轄の幹線国道であることから、現時点では、交通管理者である警察、道路管理者である国が、許可する可能性は極めて低い。ただし、今後の南九州西回り自動車道の整備後に備えて、必要な情報収集に努めたい。	平成20年4月に中心市街地の活性化を図るため公益性と企業経営の策定中であり、計画に基づき中心市街地の活性化を図っていく予定である。											○	
H17	その他	—	市街地活性化の対策等を設けて重点的にやっていたらいいか。商店街自体が疲弊しており、自力というのがどうしても難しい	商工振興課	合併に伴い、人員も削減する計画でやっているけれども、商店街の活性化については再検討していかなければならないとは私も思っている	国道3号の歩道部分の占用等を行い、きやんせふろさとフェスタ等を実施し賑わいのある商店街づくりを行っている	中心市街地活性化法に基づく薩摩川内市中心市街地活性化基本計画を策定中であり、計画に基づき中心市街地の活性化を図っていく予定である。	平成20年6月に市政モニターに対してアンケートを実施し、公文書については8割の方から分かりやすくなったとの集計結果が得られたが、今後も引き続き横文字の使用については注釈をつけるなど、分かりやすい公文書作成に努めていきたい。	公文書作成に当たっての指針「わかりやすい公文書を目指して」に基づき、横文字の使用については注釈をつけるなど、分かりやすい公文書作成に努めている。	H21年度末のとおり									○	
H17	その他	—	行政に横文字が多くなった。横文字が定着するまでは、かっこ書きで日本語でも書いてほしい。丁寧な書き方をしていたほしい	文書法制室	気をつけているつもりだが、今後十分気をつけて、横文字を使わなければならない場合は注釈をつけてやるように心がけてまいりたい	平成18年12月に「わかりやすい公文書を目指して」を作成し、全職員に周知を図った。その中で、横文字については安易に使用せず、使用した際には、必要に応じ説明や注釈をつけることとしている	公文書作成に当たっての指針「わかりやすい公文書を目指して」の周知を図り、横文字の使用については注釈をつけるなど、分かりやすい公文書作成に努めている。	公文書作成に当たっての指針「わかりやすい公文書を目指して」に基づき、横文字の使用については注釈をつけるなど、分かりやすい公文書作成に努めている。												
H17	その他	—	お偉方に山形屋などで企業研修を受けてもらいたいイメージを変えてほしい。市民に接するときの笑顔とか、そういうところから	総務課	私も常に笑顔で應對し市民の皆さん方の視線と一緒に話をするように指導しているが、まだ足りないので反復し職員研修・接遇はなお一層努力をしたい	平成17年度から接遇研修を実施している。特に平成18年度からは「さわやか挨拶運動」を実施し、市民に対するさわやかな挨拶の徹底を指導した	職員の接遇能力を高めるために職員研修の一環として、外部講師による「接遇」研修を平成17～19年度に実施した。また、平成18年3月「薩摩川内市職員人材育成基本方針」を策定し、常に職員は、全体の奉仕者としての意識を持ち、市民を愛し、懇切丁寧に対応するよう指導している。													○
H19	1	川内	前回の市民会議の際にもあげた議題であるが、前回の回答ではインターが完成すれば国道3号線の通行車両も減り、歩行者天国の開催についても可能になるだろうということだったが、その間にも商店街は日々活気を無くしつつある状況がふまえ、その間の行政の実現可能な年次計画について具体例を伺いたい。	商工振興課	国道3号が国道直轄の幹線国道であることから、現時点では、交通管理者である警察、道路管理者である国が、許可する可能性は極めて低い。ただし、今後の南九州西回り自動車道の整備後に備えて、必要な情報収集に努めたい。それまでの間の、中心市街地活性化策としては、商工会議所や商店街の方々等と協力しながら、次の5つの施策を中心に取り組んでまいりたい。 第1に、国道3号の歩道部分や周辺市道等を活用した商店街活性化イベントの定期的開催。 第2に、チャレンジショップなど、空き店舗活用事業の実施。 第3に、大型店ほか集客施設の中心市街地への誘致。 第4に、街なか居住促進など、中心市街地活性化のための新しい基本計画の策定。 第5に、活性化事業の実施主体としてのまちづくり会社の設立。 これらに積極的に、取り組んで参りたい。	1 中心市街地再生を目的に、中心市街地の多くの中小事業者が出資し(市も300万円出資)平成20年4月30日に(株)まちづくり薩摩川内が設立され、空き店舗対策などの活性化にむけた事業を取組んでいる。 2 また、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の国の認定を目指して、中心市街地活性化協議会の意見を求めるなど、街なか居住の推進する施策も掲載した基本計画案を作成している。 3 基本計画案にも掲載されているが、中心市街地商店街、川内商工会議所、市及び(株)まちづくり薩摩川内が一体となって、国道3号太平橋通りの歩道占用や十文字通りの道路占用を行い、年3回の統一イベントを行っている。 4 中心市街地の大規模未利用地の積極的な活用を図るため、市役所跡地への商業施設の誘致活動を行っている。	1 中心市街地再生を目的に、中心市街地の多くの中小事業者が出資し(市も300万円出資)平成20年4月30日に(株)まちづくり薩摩川内が設立され、空き店舗対策などの活性化にむけた事業を取組んでいる。 2 また、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の国の認定を目指して、中心市街地活性化協議会の意見を求めるなど、街なか居住の推進する施策も掲載した基本計画案を作成している。 3 基本計画案にも掲載されているが、中心市街地商店街、川内商工会議所、市及び(株)まちづくり薩摩川内が一体となって、国道3号太平橋通りの歩道占用や十文字通りの道路占用を行い、統一イベントを行っている。 4 中心市街地の大規模未利用地の積極的な活用を図るため、市役所跡地への商業施設の誘致活動を行っている。	1 中心市街地再生を目的に、中心市街地の多くの活性化にむけた事業を取組んでいる。特に、今年度は中心市街地の来街者に対して、商店街情報やイベント情報を周知することで集客力増や回遊性の増加を図った。 2 中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の国の申請状況を中心市街地活性化協議会へ報告し、今後の基本計画のあり方について協議を行なった。 3 基本計画にも掲載されているが、中心市街地商店街、川内商工会議所、市及び(株)まちづくり薩摩川内が一体となって、国道3号太平橋通りの歩道占用や十文字通りの道路占用を行い、12月1日に「一店一品歳末市」を実施した。 ※各個展の逸品の販売やステーション、大道芸、クリスマス演奏会、レシート抽選会などを実施。 4 中心市街地の商店主・地主・家主の意向・動向調査を行い、今後の中心市街地のあり方について検討を行った。											○	

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区概算計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	完結分
H19	2	川内	中心市街地の活性化を図っていくためにも、街なかへの居住を促進することが必要である。「コンパクトシティ」が目指す案件は、向田地区周辺にはそろっている。公共施設が集中し、買い物・病院等のアクセスも良いため、居住するには最適な地域である。ただ、居住する住宅の不足・家賃の高さ等の問題がある。この問題を解決するために、民間活力を利用した借り上げによる公営住宅整備や、民間が作る共同住宅（優良建築物整備事業）への助成事業等を整備していただきたい。	建築住宅課	本市の公営住宅整備は、平成17年度に公営住宅ストック総合活用計画を策定し、市営住宅の整備、管理の基本的な考え方を定めている。その活用計画での基本方針に、ストック（既存の建物）の有効活用、民間活力の活用等を掲げており、現在、公営住宅ストック総合改善事業（市営住宅の建物等の改善事業）や過疎地域における定住促進を目的とした借り上げ空地域振興住宅を年次的に実施しているところである。当地域では、向田本町にある市有地に民間の方に住宅を建設していただき、市が市営住宅（公営住宅）として借り上げ運用する方法や遊休民地に建物を建設していただき、その一部の階を市営住宅として借り上げ、その他の階については、店舗やマンションなどで活用する方法などが考えられる。		平成19年度策定した薩摩川内市中心市街地活性化基本計画において、中心市街地は空き地が増加しているため、賑わいあふれるコンパクトシティを目指し、居住人口の増加を目標の一つに掲げている。 しかし、当地区には公営住宅がなく、また、まとまった土地を購入することも困難なため、土地所有者等が建設する賃貸住宅を本市が住宅に困窮している市民に対し、転貸しするための公営住宅として借り上げる制度を創設することにより、利便性の高いまちなかでの居住推進を図り、中心市街地の活性化に寄与すると共に、多様な市民ニーズに対応した住宅供給及び市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものであり、平成20年度にこの制度を検討する計画である。	薩摩川内市中心市街地活性化基本計画のなかで、中心市街地の居住人口の増加に向けた施策として、民間による大規模未利用地を活用した共同住宅建設が掲げられている。 平成20年度においては、これらの事業を進めるうえで必要な制度整備、実施要領、補助要領及び整備基準等について検討を進めてきている。	中心市街地借上型市営住宅建設については、11月25日に事業概要説明会を実施し市民の皆様のご意見をいただき、その後アンケート調査を実施した。 平成22年度の早い時期に先進地調査を実施し公募に向けて事業推進していきたい。	平成22年10月～23年1月にかけて実施事業者を公募した。現在、選定委員会により事業者選定を行っている。平成23年度で工事着手を進めていきたい。								
H19	3	川内	国道3号線から平佐方面に抜ける横馬馬場町、山形屋駐車場と市民駐車場の間の踏切橋は幅が非常に狭く、自動車の乗り降りも危ないため、自転車や歩行者が常に危険にさらされている。この橋に歩行者専用道路を取り付けて欲しい。	建設整備課	坂本的な橋梁架替については、道路整備や財政状況に併せ整備を検討する必要があり、早急の実施は難しい状況である。そこで、歩道橋設置を現在の橋に併設するという考えもあるが、太陽ハイスも兼ねて簡易で安価な歩道橋（鋼材使用による）が設置出来ないか、河川管理者である県等と協議をさせていただきたい。	県と協議中。	仮設歩道橋等で対応できないか、県と協議することとしている。	・未着手	・未着手									
H19	4	平佐西	川内駅東側区画整理事業に伴い多目的要素の建物及び広場が建設されると聞いている。薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場となるホール、会議室、展示場、図書室、学習室等、住民が気軽に利用できる施設、その他憩いの場になるような施設を作ってもらいたい。	企画政策課	施設は、市のシンボリックなもの、文化的なものを考慮して、若い世代、高齢者など広く意見を聞いて将来構想を練っていききたい。薩摩川内市総合計画基本構想の中で、複合的な拠点施設としての整備を図りたいとし、総合計画実施計画の平成19～21年度計画に、整備メニュー、整備手法等についての調査・検討を行うこととしている。財政運営の面からも、今すぐに公共施設を中心とした複合拠点施設を整備することは難しい状況だが、今後、生涯学習施設を含め、市民の皆様が求める機能の把握に努めるとともに、民間の活力を導入した整備手法、整備時期について、検討して参りたい。	九州新幹線全線開業に向け、川内駅周辺地区のまちづくりに関する施策等について、検討する庁内研究会を設置し、箇中で複合拠点施設用地の活用について、具体的な検討を行っている。	九州新幹線全線開業に向け、川内駅周辺地区のまちづくりに関する施策等について、検討する庁内研究会を設置し、箇中で複合拠点施設用地の活用について、具体的な検討を行っている。	・新たに策定した今後5年間のまちづくりの指針となる総合計画下期基本計画において、生涯学習の推進及び市街地等の整備と拠点づくりの節に、文化施設、生涯学習推進施設、商業施設を集積した複合拠点施設整備の検討を明記した。 ・関係する部課をメンバーとする横断的な研究会を設置し、複合拠点施設用地の利活用について具体的な検討を行っている。	・関係する部課をメンバーとする複合拠点施設等整備推進プロジェクトチームを平成22年10月に設置し、複合拠点施設等整備計画に関する検討を開始した。 ・平成23年2月に複合拠点施設等整備計画に関する可能性調査業務委託を発注し、整備位置、施設構成、及び整備手法等を検討している。								○	
H19	5-1-①	平佐西	外環状線のタイヨ-永利店から天大橋通りまでの間、天辰アグリ館までの通り抜けの延長道路の早期着工と完成、又同時に信号機の設置をお願いしたい。	天辰区画整理推進室	交通量の分散を図るため、未整備である区画整理区域内の延長約200mについては、今のところ平成22年度に完成の予定である。また、（純心女子大学下のT字）交差点への信号機の設置については、県の公安委員会に要望している。	永利天辰線の区画整理区域内の未整備延長80mについては、平成20年度に支障建物等の移転を終え道路整備に着手し、平成21年度中に完成の予定である。また、大学通線との交差点の信号機設置についても、警察や公安委員会と綿密に協議を重ね、供用に併せて設置できるように調整したい。	永利天辰線の区画整理区域内の未整備延長80mは舗装工事を残し完成したが、大学通線交差点の右折車線の一部が未整備であるので権利者と協議を重ねて、平成21年度中に交差点部を完成の予定である。警察や公安委員会と綿密に協議を重ね、供用に併せて設置できるように調整したい。	永利天辰線と大学通線の交差点は、3月末に交差点部が完成して、信号機設置も設置されて供用開始した。又、その他の交差点は交通量等の状況を見て、警察や公安委員会に要望したい。	区画整理地区内の交差点部の信号機設置については、警察と協議の結果、現時点では交通量も少ないことから設置は難しいとの判断であった。今後も地域からの要望や道路全線供用時の交通量等の状況を見て、警察や県公安委員会と協議してまいりたい。			○	○	○				
H19	5-1-②	平佐西	中央中から外環状線に抜ける市道も道路幅が狭く車の乗り降りも困難である。中、高校生の通学路になっているので、道路の拡幅工事と信号機の設置を要望する。	建設整備課	市道横馬場・田崎線交差点から市道平佐・吉野山線（通称大学通り線）の区間は、地権者の同意が得られず拡幅できないのが実情である。今後、地権者の協力が得られたら、地域の道路整備の優先度等を考慮しながら整備について検討したい。また、この地点の信号機設置につきましては、県公安委員会の管轄になるので、道路整備の状況と見合わせながら、継続的に要望していく。	計画されていない。	信号機は、設置済み。拡幅工事については、維持課対応として検討中。仮設	・信号機設置（公安にて）	・未着手									
H19	5-2	平佐西	市道の横馬場町の春田川にかかる、ぎおん橋が取り付け道路に対して極端に狭くなっている。子どもたち、おもに中、高校生の通学路にもなっています。横馬場一田崎線の整備が進むと交通量が更に増加されることが予想されるので拡幅工事や歩道増設などの安全対策を考えてもらいたい。	建設整備課	議題3と同じ	県と協議中。	仮設歩道橋等で対応できないか、県と協議することとしている。	・未着手	・未着手									
H19	6	平佐西	平佐西地区は犯罪件数が突出して多発しているが、川内駅東側方面に派出所、交番が1箇所も無いので平佐西地区に1箇所検討してもらいたい。	防災安全課	薩摩川内警察署に問い合わせたところ、現在平佐西地区を管轄している川内中央交番は、平成12年3月10日に、従来の太平橋交番と川内駅前交番との統合により、人員の集中と管轄区の見直しを行い機能の充実を図ったものであり、今のところ新たな交番を設置する予定はないとの回答であった。本市としては、薩摩川内警察署はじめ、薩摩川内地区防犯協会などと連携しながら諸対策を講じているところであり、併せて川内駅やきやんせふるさと館内の事業所及びタクシー協会、周辺自治会などの皆さんに、川内駅周辺でかけこみ事業等があった場合は、ただちに当事者の身体を保護するとともに、速やかに110番通報をしてもらうようお願いしているところである。	回答のとおり	前回答のとおり。	前回の回答のとおりである。県では交番・駐在所の統合を進めており、新たな交番設置は予定されていない状況である。										○
H19	7	平佐東	旧橋元駅から橋元上まで道路改良されているが、残りの改修部分が吉野山まで約670m残っているため、早急に完成してくださるよう要望する。	建設整備課	未整備区間のうち一部区間については、踏切橋の撤去、埋め立てを行い一部舗装等を行ってきておりますが、坂本的な改良は行っていません。残された区間については、旧国鉄宮之城線は宅地及び田畑より一段高い場所に位置しているため、利用しづらい道路になること、鉄橋部分については幅員拡幅をし新たな橋梁を架けるため多くの事業費を必要とする点等、多くの課題を抱えているため、平行路線である市道橋元木屋園線等の改良等も含めて研究して参りたい。現在、この地区では市道戸田長野線を年次的に整備しており、まだ2年ほどかかると思うが、まずは戸田長野線を優先して参りたい。	平成21年度調査予定	仮設歩道橋等で対応できないか、県と協議することとしている。	・測量設計を実施。	・未着手									○

川内中央中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H18当初予算	H19当初予算	H20当初予算	H21当初予算	H22当初予算	H23当初予算	完結分
H19	8	平佐東	現在の飯母橋は、昭和30年ごろ樋脇川の氾濫による流出で、緊急に建設された橋であり、当時は資材や予算も乏しく最低限のコンクリート橋を建設されている。特に災害時は樋脇川の水量も多く、橋が揺れるため大変危険であるため早急に調査をし、架け替えに着手するように要望する。	建設整備課	国の施策として、長寿命化修繕計画策定事業が創設された。この制度を活用し、平成21年度から既設橋梁(橋長15.0m以上)の調査し、計画策定を行う予定としている。飯母橋についても、調査の対象として、その結果をみて対応をしたい。		平成21年度橋梁長寿命化事業に係る調査を予定	平成21年度から建設維持課にて、橋梁長寿命化計画の調査に入る。(H17議題3と同じ)	・未着手	・未着手								
H19	9	平佐東	昨年の大水害で小学校周辺は堤防が決壊したために住宅等が冠水した。二度とこのような大災害が発生しないよう強い堤防を構築していただきたい。	建設政策課	現在、県の計画では堤防、道路とも周辺の改良等の計画はないということだが、災害防止、生活の安全安心の観点から浸水被害が発生しないように県に対して、改善を要望して参りたい。 また、市としては、この地区では現在、吉野山排水ポンプ施設の河川災害復旧工事を実施中であり、この工事にあわせて、ポンプの増設工事に入っている。		樋脇川左岸堤防の嵩上げについて県へ要望していきたい。・・・(H20年度国・県要望に登載予定)	平成20年度の国・県要望に樋脇川左岸堤防嵩上げについての要望を登載した。今後も引き続き要望していきたい。(吉野山排水ポンプ災害復旧工事・・・H19年度完了)	H21年度の国・県要望に樋脇川左岸堤防嵩上げについての要望を登載した。今後も引き続き要望していきたい。	戸田橋から中村橋までの現況調査を実施した								
H21	1	川内	既存の建物の有効活用や民間活力の活用等で、定住促進を目的とした、借り上げ方式等による、地域振興(向田地区)住宅の促進状況を示してほしい。	建築住宅課	平成20年度から、関係各課と連携を図りながら、民間活力を活用した借り上げ方式の共同住宅建設に向けて、制度要綱を作成しているところである。現在、市では借り上げ型市営住宅の整備基準の作成を進めており、並行して市内外企業に対し、本事業への参加意向調査などを行い、今年度中の事業募集開始を目指している。				中心市街地借上型市営住宅建設については、11月25日に事業概要説明会を実施し市民の皆様のご意見をいただき、その後アンケート調査を実施した。 平成22年度の早い時期に先進地調査を実施し公募に向けて事業推進していきたい。	平成22年10月～23年1月にかけて実施事業者を公募した。現在、選定委員会により事業者選定を行っている。平成23年度で工事着手を進めていきたい。								○
H21	2	平佐西	薩摩川内市の川内駅東側区画整理事業に伴い、多目的要素の建物及び広場が建設されると聞いている。薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場となる、ホール、会議室、展示場、図書室、学習室等、住民が気軽に利用できる施設、その他憩いの場になるような施設及び交番が併設された施設を作ってもらいたい。	企画政策課	総合計画の中で、商業機能、文化交流機能に加え、生涯学習を併せ持つ複合拠点施設整備を検討する旨であった。これを受けた実施計画の中において、整備メニュー、整備手法等の調整検討を行うことにしているが、現時点において、厳しい財政運営の面からも、複合拠点施設などを整備することは大変難しい状況にある。したがって今後関係団体、議会、市民の意向等把握に努めるとともに、民間活力、財源確保を含め、今後とも整備手法・整備時期について検討していきたい。				・新たに策定した今後5年間のまちづくりの指針となる総合計画下期基本計画において、生涯学習の推進及び市街地等の整備と拠点づくりの節に、文化施設、生涯学習推進施設、商業施設を集積した複合拠点施設整備の検討を明記した。 ・関係する部課をメンバーとする横断的な研究会を設置し、複合拠点施設用地の利活用について具体的な検討を行っていく。	・関係する部課をメンバーとする複合拠点施設等整備推進プロジェクトチームを平成22年10月に設置し、複合拠点施設等整備計画に関する検討を開始した。 平成23年2月に複合拠点施設等整備計画に関する可能性調査業務委託を発注し、整備位置、施設構成、及び整備手法等を検討している。								○
H21	3(1)	平佐東	旧橋元駅から橋元上まで道路改良されているが、残りの改修部分も早急に完成してくださるよう要望する。	建設整備課	本年度法線や縦断勾配等を検討するため、地元の方々と現地踏査を行いたいと考えている。この路線は延長も長く、橋梁架設もしなければならぬことなどから、大きな経費が必要となるので、地形条件を考慮しながら、事業費を安くしていく方法等を考えたい。用地買収を伴う箇所も若干予想されるので、沿線の地権者調査(相続関係)等も含めて行いたいと考えている。				・測量設計を実施。	・未着手								
H21	3(2)	平佐東	現在の飯母橋は、昭和26年に樋脇川の氾濫で流出して、緊急に建設された橋であり、建設から50年以上経過し、老朽化も目立っている。早急に長寿命化修繕計画を策定し、架け替えに着手するように要望する。	建設整備課	平成21年度橋梁長寿命化修繕計画策定の準備をしている。21年度については、長寿命化修繕計画策定するための前準備として、点検調査業務を行うことにしており、22年度から計画策定していくこととしている。				・未着手	・未着手								
H21	3(3)	平佐東	中村堤防の拡幅について、今後も継続して要望し、県の事業計画に掲載されるよう努力していただきたい。	建設政策課	昨年8月に県知事に要望をしており、県からの回答は「今後、検討していきたい。」であったが、今後も、水害に対する地域住民の方々の安心・安全を確保するという観点から、堤防嵩上げの早期実現に向けて引き続き要望していきたい。				回答のとおり	戸田橋から中村橋までの現況調査を実施した								
H21	3(4)①	平佐東	市指定の遊樂場所である平佐東小学校体育館入り口のバリアフリー化をお願いしたい。	教育総務課	平佐東小学校屋内運動場入り口のバリアフリー化については、優先度の高いものとして、本年度平成21年度予算をもって早速実施したいと考えている。				H21年度予算で対処済み									○
H21	3(4)②	平佐東	市指定の遊樂場所である平佐東小学校体育館内にトイレを設置してもらいたい。	教育総務課	トイレ設置には多額の経費を必要とする事や、屋外運動場等学校施設については、耐震化の実施の方を当面優先して取り組んでいることなどから、平佐東小学校体育館に直ちにトイレを設置することは困難な状況である。しかし、現在、学校施設の耐震診断を実施中であり、その結果次第によっては、この耐震化と合わせて大規模改修の工事を実施することができるので、トイレの設置についてはその時に一緒に是非検討したいと考えている。				学校施設については、校舎・屋内運動場の耐震化を優先することとしているため早期の改修は非常に難しい状況である。	学校施設については、校舎・屋内運動場の耐震化を優先することとしているため早期の改修は非常に難しい状況である。								
H21	3(5)	平佐東	市指定の遊樂場所である平佐東コミュニティセンターにエレベーターを設置してもらいたい。	コミュニティ課	エレベーター設置については、今年中に設置完了する予定である。平佐東の地区コミセンに関するこれまでの協議の中で、大きな支障となる問題はないので、今後とも関係部署と連携をとり、早急に発注し早く利用できるよう努めたい。				平成21年度にエレベーターを設置した。									○
H21	その他		地域福祉ボランティアタクシーの導入を考えていただけないか。	商工振興課	地域福祉ボランティアタクシーについては、松山市・浜松市等で事例があり調査も行っている。事前予約型乗り合いタクシー・地域巡回バス・路線バス・ボランティア有償運送、この4つを組み合わせて、市内全てを5年程度のうちに見直しをしていきたい。地域の助け合いによるボランティアタクシーについては、登録や許可の必要がないので、要望があった地域から地区コミの方々と一緒に検討に入りたい。				今後、事前予約型乗り合いタクシー・地域巡回バス・路線バス・ボランティア有償運送等を見直しをしていきたい。地域の助け合いによるボランティアタクシーについては、登録や許可の必要はないが、運行方法等については慎重に進める必要がある。要望があれば、地区コミの方々と一緒に検討したい。	地域の助け合いによるボランティアタクシーについては、登録や許可の必要はないが、運行方法等については慎重に進める必要がある。 そこで、市としてコミュニティバスでカバーできない地区コミエリアでの交通空白の解消については、各支所地域では現在のコミュニティバスを廃止し、デマンド交通(事前予約型乗合タクシー)に移行するとともに、川内地域では現在のコミュニティバスのさらなる充実を図るとともに地区コミによるデマンド運行を進めていくことにしている。 そのために、地区コミ・デマンド運行モデル事業の補助金を平成23年度に予算措置をしており、平成23年10月以降に募集を開始する予定であるので、要望があればこの制度を川内地域では利用することも可能である。								○